



法規は徹底させよ

當事者は公平たれ

法律、規則、は絶対の權威に出るなど當局者の反省とでなくてはならぬ、大は國自己的の職業に耽つてもらひ實際的に小は一組合の規則にない要は厳正に法規を中軸とする迄其處に法の嚴肅なる權威があるのだ。

然るに近來其法の運用上に不徹底の影が澤山見ゆる。

一例を揚ぐれば私娼狩の如く、暴力取締り然り弱者に強く權威者に弱く

私娼狩りの如き公々然黙認しながら時々日を定め其時

法規を兎戯に等しく玩弄するなど参考の餘地あると思ふ。

私娼が絶対的法規に反するならば何故積極的に取締らぬか、月數回の蔭部の検査は何を物語るか

不徹底の極である

又暴力を唯一の賣物として善良なる人々を種々なる手段にて威嚇し金品等を得る

珍商賣人も近來大部多くなつた斯の如き不良人を當局者は視て見ぬ振りの態度は

實に苦々しき極みである

法を司るべき立場にあるものが弱者に對しては無理難題を恣にし特殊の立場あるものに對しては反對の行動

推移したなら思想的に重大な事態を惹起せしめぬか

毎月十、廿日發行
定價 二部 十錢
一ヶ年 三圓
廣告料 一行五錢
發行兼編輯印刷人 伊藤隆次
福島縣小名濱町
磐城水産新報社

美 味 自 慢
純支那御料理
中 和 軒
小名濱町 道通社

寸言録

例の減俸案も撤回になつた反對の矢面に樹つた人達が是か非か不明なるも一部の反對に遇て是と信じて發表した事をもなく取消すとは、先見の明のないこと、強く反對すればどうにもなると云ふ事は立派に立證できた

緊縮々々で國民は一般に萎縮してしまつた大小事業と云はず總てが退嬰し此分を推移したなら思想的に重大な事態を惹起せしめぬか

緊縮の言——緊縮とは三杯食す飯を二杯に節約し一年に二三回しか着ない絹布の衣類を綿布に換へよと云ふのか又は社會事業に投じ鎮守の寄贈行為も全廢せよと云ふ事か

田舎の中流以下に於て緊縮する餘地は其以外なし只、緊縮の言は人氣を悪くし事業を萎微させ失業者を多く製造するのみ

本年は近海の秋刀魚おもしろからず人智が進み設備が完備すれば魚鮮は反對に遠去る其處に進歩があるのか漁業家の合同化の促進には眺らい向

昨今縣參事會員問題で彼方此方で論議されてる縣議たる以上縣參を希望する無理からぬ事だ然し其れが各黨員の協議の上妥協する事なれば縣參は偉い人と云ふでもない以上其選に洩れても寧ろ謙讓の美德として賞讃されるかも知れぬ

がある強き暴力が相當幅をキカシてる又當局者も視て見ぬ振の態度がある強き暴力者を取締る權威がなかつたら一般人民は何を頼りか安んじて其職に就けるか喰に食なく着るに衣なき弱者を取締るばかりが能でない

既往の罪は之迄充分論議つたされた茲に甦生の案も社長以下の重役も献立された上は何とかして再起させたい警報に關係あるとなつてを問はず此場になつて彼此騒ぐは相互の損御互が一丸となつて擁立することを本當かも知れぬ共同生活者の義務であらう

世の中に誰一人自ら失敗に向て邁進する奴はない生よと悶いて深水に入るが普通失敗する斷末魔の苦みは嘗たものでなければ知れぬ死の苦痛は未だ體驗がないが生ながらの斷末魔は悲惨なものだ

江名町 首藤醫院
内外科一般

森合齒科醫院
植田町

磐城水産工業株式會社
社長 小野晋平
總支配人 福尾伊太郎
電話六六番・四六番

中ノ作鐵工所
主 吉田正雄
石城郡 江名町

磐城共濟病院
平町南町
電話 六四一 番

小名濱水産株式會社
支配人 平野直保
銘酒 清世界 釀造元
清水正宗
清水屋
小野晋平
小名濱町 電話 六番

磐城海岸軌道會社の甦生
社長支配人の更迭
心あるものは軌道會社も既奈邊迄更新するかは實績を末路であると迄極論し當拜見の上でなければ云爲出時者も心筋かに憂へ甦生に來ぬが奇才縦横な小野晋平急なりしが窮すれば通ずる氏を社長に戴き其下に事業今回小野晋平氏を社長に星家として令名ある星氏を支配人に配するなど甦生せん郎氏を支配人として更始一とする軌道會社の一大光明新に精進しつゝある

和洋銅鐵金物問屋
磐城平町五丁目
釜屋商店
振替口座東京一〇九五六番
電話 九番 一三九番